

経営比較分析表（令和5年度決算）

北海道深川市 市立病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	200床以上～300床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	17	対象	ド透未訓	救護が感へ災輸
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
18,764	23,954	-	第1種該当	10：1

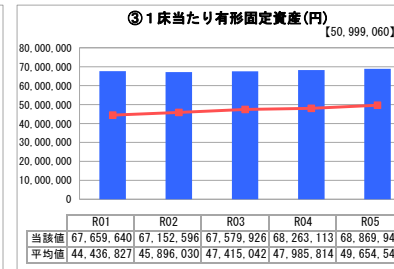
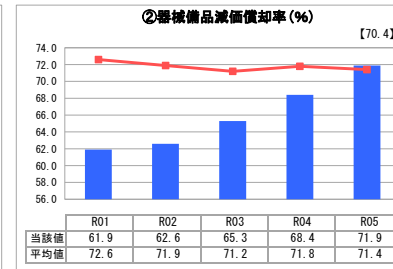
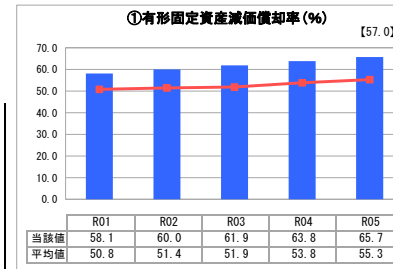
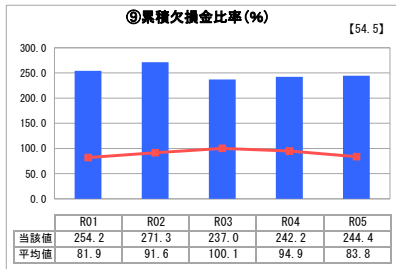
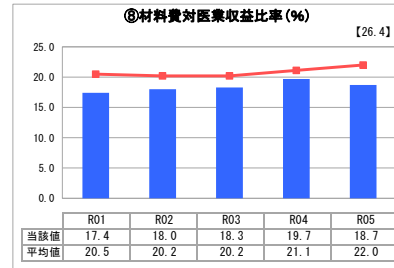
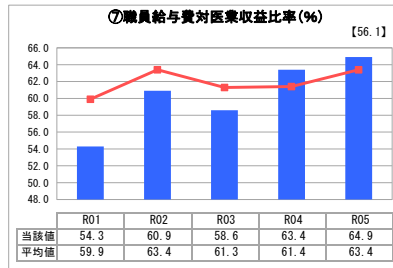
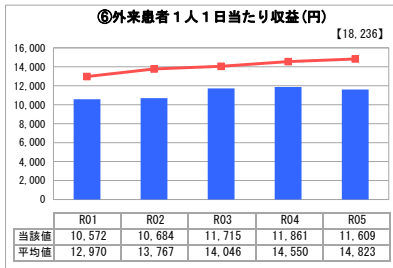
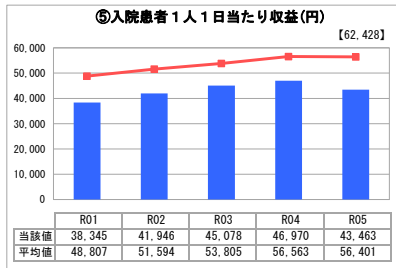
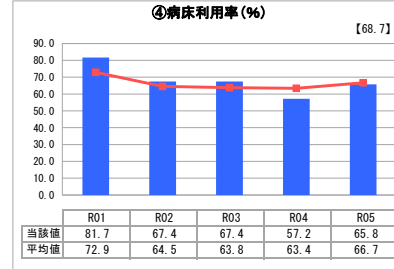
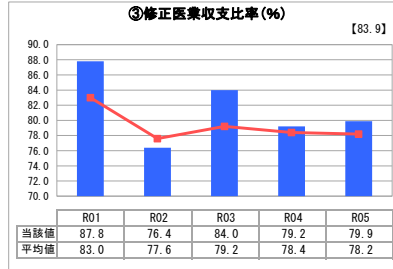
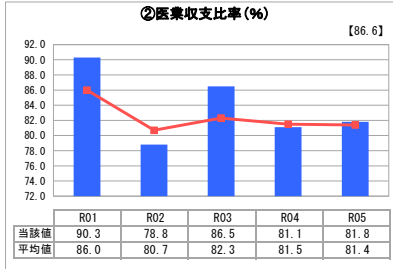
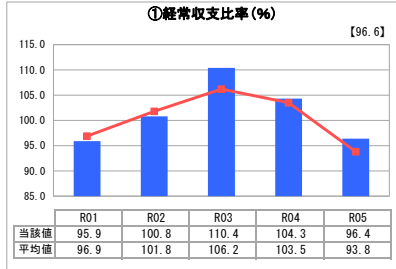
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輸…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（総核）
199	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	4	203
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
179	-	179

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
-	類似病院平均値（平均値）
[]	令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

業務分化・連携強化 (従来の可搬・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

北空知二次医療圏の中核病院であり、高度医療機能と圏域で一般病床を有している唯一の病院として急性期医療を担っている。
また、地域住民にとって必要な救急医療、災害医療、感染症医療、へき地医療など、採算性が低いため、他の医療機関では提供できない医療機能を担っている。
感染症病床も備えており、感染症患者や疑い患者等の地域住民の入院診療のほか、広域での受入協力や病床確保も行っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

物価上昇による影響やCT撮影装置の故障に係る緊急修繕等による経費の増、新型コロナウイルス感染症各種補助金の減等により、経常収支比率は健全経営の水準とされる100%を下回った。
病床利用率の上昇（入院患者の確保）、や収益改善の効果により修正医業収支比率は前年度より上がっているが、100%を下回っており、医業収益の不足により必要経費が賸っていない状況であり一般会計繰入金に依存している。
累積欠損率が平均値より高くなっているのは、地域医療を担う立場のため不採算部門を抱えていることから医業収益が低いためと分析しており、引き続き診療内容の改善や加算等取得による増収、経費削減等を含めた計画的な経営改善を行っていく。

2. 老朽化の状況について

病院施設は平成17年に移転・改築しているが、改築後19年が経過しており、施設及び医療機器の老朽化が現れている。
有形固定資産が類似病院よりも高いのは、当初の病床数が305床であることから、現在の203床と比較すると過剰となっているものである。
医療器械備品については機器が老朽化しており、今後も計画的に更新を進めていく必要がある。
施設設備についても改修が必要な時期のため、ボイラーや配管、空調などの更新を医療機器の更新と合わせて計画的に進めている。

全体総括

地域医療を担う立場にあることから不採算部門を抱えており、医業収益が低い病院であるが、診療内容の改善や患者確保により更なる増収も可能であると思われる。そのためには、医療の質の向上による収益改善を継続し診療材料などの適切な使用など経費節減も継続して実施していくことが重要であり、市立病院経営強化プランの実行とともに経営体質の強化、改善に努める必要がある。
また、移転・改築後の施設や医療機器の老朽化による改修や更新等が必要であるため、前述の経営強化に加え、企業債や補助金、市からの繰出金など必要な財源を確保できるような努めていく。

※1 類似病院平均値（平均値）]については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。